

健康ウォッキング

東陽病院 副院長

伊藤 文憲

脾臓病(3)

横芝町の皆さん今日は。今回は糖尿病に代表される脾臓の内分泌機能の異常についてのお話です。脾臓には二つの働きがあります。消化を助ける外分泌機能と血糖の代謝に関係する内分泌機能です。脾臓の組織には外分泌細胞がほとんどでその中に内分泌細胞が島のように集まっています。

インシュリンを分泌する細胞の塊はランゲルハンス島(以下ラ島)と呼ばれます。ランゲルハンスとはドイツの解剖学者の名前で、1869年に脾臓内の独特な細胞集団を見し、それから命名されました。

ラ島は脾臓の中に散らばっています。脾臓の手術で一部を切除しても糖尿病にはなりません。このラ島が炎症やその他の原因で萎縮するとインシユリンの分泌が減少して糖尿病が起ります。また遺伝的にラ島が弱い人は糖尿病になります。

広報よこしば 2003.3.1

インシュリンは血液中の糖を細胞の中に運ぶのが仕事です。インシュリンが不足すると血液中の糖分が細胞に入らずに高血糖となります。血糖値が高くなると腎臓から糖分が出て尿の量や回数が増えます。この結果水分が不足するためにのどが渴いて水をたくさん飲むようになります。多尿や口渴が糖尿病の初発症状です。また、細胞に必要な糖分が不足すると身体の細胞の中でも特に腎臓や眼などの小さな血管に悪影響が出てきます。糖尿病は進行すると失明や腎不全にまで至る怖い病気です。

治療法としては最初は食事療法、それでも血糖値が下がらない場合には飲み薬があります。この薬は脾臓のラ島に作用してインシュリンを増産させる作用があります。長くこの薬を飲むとラ島が疲れてしまって、徐々に効果が薄れていきます。この場合にはインシュリンを注射で補わなければなりません。自己注射といつて

自分で注射をすることが保険で認められています。ここで気をつけないといけないのは血糖値が高く糖尿病と思っていることがあります。脾臓の中心を外分泌腺の道である主脾管が通っています。腫瘍を作るタイプや脾石を作るように高血糖となると腎臓から糖分が出て尿の量や回数が増えます。この結果水分が不足するためにはどのどが渴いて水をたくさん飲むようになります。多尿や口渴が糖尿病の初発症状です。また、細胞に必要な糖分が不足すると身体の細胞の中でも特に腎臓や眼などの小さな血管に悪影響が出てきます。糖尿病は進行すると失明や腎不全にまで至る怖い病気です。

治療法としては最初は食事療法、それでも血糖値が下がらない場合には飲み薬があります。この薬は脾臓のラ島に作用してインシュリンを増産させる作用があります。長くこの薬を飲むとラ島が疲れてしまって、徐々に効果が薄れていきます。この場合にはインシュリンを注射で補わなければなりません。自己注射といつて

自分で注射をすることが保険で認められています。ここで気をつけないといけないのは血糖値が高く糖尿病と思っていることがあります。脾臓の中心を外分泌腺の道である主脾管が通っています。腫瘍を作るタイプや脾石を作るように高血糖となると腎臓から糖分が出て尿の量や回数が増えます。この結果水分が不足するためにはどのどが渴いて水をたくさん飲むようになります。多尿や口渴が糖尿病の初発症状です。また、細胞に必要な糖分が不足すると身体の細胞の中でも特に腎臓や眼などの小さな血管に悪影響が出てきます。糖尿病は進行すると失明や腎不全にまで至る怖い病気です。

治療法としては最初は食事療法、それでも血糖値が下がらない場合には飲み薬があります。この薬は脾臓のラ島に作用してインシュリンを増産させる作用があります。長くこの薬を飲むとラ島が疲れてしまって、徐々に効果が薄れていきます。この場合にはインシュリンを注射で補わなければなりません。自己注射といつて

自分で注射をすることが保険で認められています。ここで気をつけないといけないのは血糖値が高く糖尿病と思っていることがあります。脾臓の中心を外分泌腺の道である主脾管が通っています。腫瘍を作るタイプや脾石を作るように高血糖となると腎臓から糖分が出て尿の量や回数が増えます。この結果水分が不足するためにはどのどが渴いて水をたくさん飲むようになります。多尿や口渴が糖尿病の初発症状です。また、細胞に必要な糖分が不足すると身体の細胞の中でも特に腎臓や眼などの小さな血管に悪影響が出てきます。糖尿病は進行すると失明や腎不全にまで至る怖い病気です。

治療法としては最初は食事療法、それでも血糖値が下がらない場合には飲み薬があります。この薬は脾臓のラ島に作用してインシュリンを増産させる作用があります。長くこの薬を飲むとラ島が疲れてしまって、徐々に効果が薄れていきます。この場合にはインシュリンを注射で補わなければなりません。自己注射といつて